

令和5年10月19日

三鷹市議会議長 様

議員行政視察に係る結果報告書

会派名 三鷹市議会 自民クラブ 代表者名 土屋 けんいち

|                 |                                                                                                                         |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 視察年月日         | 令和5年10月10日(火) ～ 令和5年10月12日(木)<br>( 2泊3日 )                                                                               |
| 2 視察者氏名         | <u>土屋 けんいち</u> <u>加藤 こうじ</u> <u>池田 有也</u><br><u>伊藤 俊明</u> <u>吉田 まさとし</u> <u>太田 みつこ</u><br><u>吉野 けんさく</u><br><u>計 7人</u> |
| 3 視察先及び<br>視察項目 | (1) 愛媛県庁<br>ア) プロスポーツと連携した地域振興<br>(2) 香川県 高松市<br>ア) たかまつデジタル市役所                                                         |
| 4 視察結果等         | 別紙のとおり                                                                                                                  |

\* 参考 10月10日、まちづくり松山(愛媛県 松山市)

\* 参考 10月11日、坊ちゃん劇場(愛媛県 東温市)



三鷹市議会 自民クラブ  
会派視察報告書①

【1:日程】 令和5年10月11日(水)

【2:視察地及び視察項目】 愛媛県庁

(1) プロスポーツと連携した地域振興

【3:視察報告】

＜愛媛県の概要＞

愛媛県は、四国の北西に位置し、北側には瀬戸内海に面した平野が広がり、南側には西日本で最も高い石鎚山(1,982m)がそびえています。瀬戸内海・宇和海には200余りの島々があり、海・山両方の美しい自然に恵まれています。

気候はおだやかで、人口は約133.5万人(全国28位)、面積は5,676平方キロメートル(全国26位)、入り組んだ海岸は全国5番目の長さ(1,695km)です。また、国宝・重要文化財の多い大山づみ(おおやまづみ)神社、村上水軍、松山城、道後温泉、内子町をはじめとする南予の古い町並みなど多くの歴史と伝統ある文化が伝えられています。

＜プロスポーツと連携した地域振興について＞

1. 目的

プロスポーツの地域密着型活動とこれを活用した地域活性化方策を推進するとともに、新たなファン層の掘り起こしなどプロスポーツ支援の拡大につなげることにより、元気な愛媛の創造に寄与することを目的としている。

2. 背景

愛媛県内には現在4つのプロスポーツチーム(愛媛FC・愛媛マンダリンパイレーツ・愛媛オレンジバイキングス・FC今治)が存在している。県ではプロスポーツチームを地域活性化につながる貴重な地域資源であると捉え、平成18年2月に「愛媛県プロスポーツ地域振興協議会」を設立。応援機運の盛り上げに向けたPR活動などの事業を実施している。

3. 取組の概要

①プロスポーツ地域連携強化事業

- ・市町の要望に応じ、地域のイベントにチームの選手等をゲストとして招き、積極的に地域を盛り上げることで、県民のプロスポーツの認知度を向上させ、応援機運の醸成を図るほか、市町とチームの連携を強化する。

## ②大学生への魅力発信事業

- ・若年層のファン獲得を図るため、大学の学生祭にブースを出展し、プロスポーツの魅力発信を行う。
- ・若年層に各チームの試合を観戦してもらい、各自の SNS でプロスポーツの魅力を発信してもらう。

## ③地域密着型プロスポーツ応援イベント助成事業

- ・各チームを応援するため、応援バスを運行する市町等に1市町あたり5万円を限度に助成。

## ④スポーツ教室

- ・各チームの現役選手や監督・コーチが、県内の小中学校を訪問し、スポーツ教室を実施することで、ファンの獲得とスポーツ文化の浸透につなげる。

## ⑤プロスポーツ出会い支援事業

- ・県内独身男女を対象に参加者を募集し、県内のプロスポーツ4チームのホームゲームの観戦により参加者の親睦を深めるイベントを開催することで、若年層がプロスポーツ観戦へ足を運ぶきっかけをつくる。

## ⑥えひめプロスポーツ大交流会

- ・プロスポーツ4チームの選手と県民が触れ合える交流会を実施し、選手を身近に感じることで新たなファンの獲得を促し、応援機運を醸成する。また、スポーツ・レクリエーション競技やスポーツ体験コーナーを設けて、その気軽さや楽しさを体験してもらい、気軽にスポーツ活動を行うきっかけづくりを行う。

## 4. まとめ

愛媛県には、地域密着型プロスポーツチームが4チーム(愛媛 FC、愛媛マンダリンパイレーツ、愛媛オレンジバイキングス、FC 今治)あり、スポーツの振興、地域活性化に貢献している。今後は、更なる認知度の向上に努め、県民に夢や感動を与えるとともに、生きがいや元気を与える県民の誇りとなるチームになるよう支援し、地域の魅力向上や賑わいの創出に活用していく必要があるとし、様々な事業に取り組んでいた。

愛知県、三鷹市という自治体としての役割の違いはあるが、FC 東京との「地域活性化包括連携協定」、東芝ブレイブルーパス、サントリーサンゴリアス、府中市、調布市との「5者協定」を締結する三鷹市としても、地域を拠点とするプロスポーツチームと、どのような事業を行い地域活性化につなげていくのか、また、市民にとっての誇りの球団になるようにどのように関わっていくのか、今後の新たな取組が必要となる。

今回の視察によって得られた知見を参考にしながら、三鷹市の、今後の地域密着型プロスポーツチームへの支援により、スポーツの振興、地域活性化を行い、地域の魅力向上や賑わい創出につながるよう提案していきたい。

三鷹市議会 自民クラブ  
会派視察報告書②

【1:日程】令和5年10月12日(木)

【2:視察地及び視察項目】香川県 高松市

(1) たかまつデジタル市役所について

【3:視察報告】

＜市の概要＞

高松市は、香川県の県庁所在地であり、人口は約42万人、面積は約375平方キロメートルです。四国各地への交通アクセスに優れており、四国観光の拠点となる場所です。

東西約23km、南北約36kmの中に、海、島、まち、山があり、見どころがたくさんあります。特に中心部では、アートやショッピングが楽しめるなど、コンパクトなまちづくりが行われています。

ターミナル駅であるJR高松駅のすぐ近くには、瀬戸内海の島々にアクセスできる海の玄関口、高松港があり、市中心部から気軽に島旅に出かけることができるのも大きな特徴です。

また、市内中心部から車で30分程の場所にある高松空港は、ソウル・上海・台北・香港と直行便で結ばれており、四国の玄関口として国内だけではなく、海外からも多くの観光客の方々が訪れています。

＜たかまつデジタル市役所について＞

## 1. 目的

デジタル技術を活用し、市のさまざまな課題を解決する「スマートシティたかまつ」の取り組みの一環として実施されている。市民全員がデジタル技術を活用でき、社会全体のDX(Digital Transformation)を進めることで、誰もが、どこからでもデジタル技術の利便性を享受できることを目指している。

## 2. 背景

高松市ではデジタル環境整備のために、2017年に設置された情報政策課ICT推進室、現在のデジタル戦略課が中心となって、IoT共通プラットフォームを構築し、現在、さまざまなデータの収集、分析、利活用に取り組んでいる。さらに、産学民官が連携する「スマートシティたかまつ推進協議会」を設立し、データの適正かつ効果的な利活用を推進している。

## 3. 取組の概要

### ①行政手続きのオンライン申請

- ・行政手続きのうち、パソコンやスマートフォンからオンラインで手続きができるものを1ヶ所にまとめた総合サイト「たかまつデジタル市役所」を開設。カテゴリー検

索、キーワード検索も可能。

- ・汎用性が高い自治体向けのオンライン申請ツール「LoGo フォーム」も活用。子ども医療費の助成拡充対象者用の医療証交付申請などでもオンライン化を実現している。
- ・公的個人認証を行う際はマイナンバーカードに格納された署名用電子証明書にて電子署名を行い、支払いが発生する手続きではクレジットカードもしくはPayPayアプリが利用可能。

#### ②窓口 DX へ向けた取組 体験調査の実施

- ・デジタル庁の窓口 BPR アドバイザー派遣事業を活用し、窓口 BPR を自走するための「きっかけづくり」を目的としたノウハウ等をアドバイザーから提供いただいている。今年度には職員若手チーム10名で市民になりきった窓口体験調査を実施。

#### ③デジタルデバйд対策事業

- ・地域コミュニティ協議会が、地域の実情に応じて ICT を活用した取り組みや、デジタルデバйд(インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と出来ない者との間に生じる格差)解消に向けた各種の取り組みを実施できる体制を構築し、円滑な活動をサポート。

### 4. まとめ

高松市では本市同様に市民全員がデジタル技術を活用でき、社会全体の DX を進めることで、誰もが、どこからでも利便性を享受できる「スマートシティたかまつ」の推進に取り組んでいる。

「できることから始めよう。じっくりみんなで話そう。たしかなデータを見よう。ルールから変えよう。」と“デジタル改革宣言”している。

中でも今回は「たかまつデジタル市役所」(申請・届出デジタル化)について詳しくお話を伺った。今年3月からオンライン申請手続きができるポータルサイトを開始している。オンライン申請を行うことで事務処理上のメリットが双方にあり、今後は法人(団体)の利用拡大も予定しているとの事であった。運用システムはデジタル庁のものと民間(500 超の自治体が採用している)のシステムをアレンジして更に市のオリジナルにカスタマイズしている。これは、一つのシステムだけに頼る必要性がないことが参考になった。個人情報やセキュリティ面で支障がなければ、本市においても利用率アップを目的に検討すべきと感じた。

また、「職員研修」「窓口 DX」「周知・広報」「デジタルデバйд(高齢者など)」といった今後の課題の対応も広く実施しているようで参考になった。

今回の視察内容はとても参考になり、令和6年度に策定を目指している「スマートシティ三鷹基本構想(仮称)」に向けて活かしていけそうな多くの学びを得られた。